

全日本港湾労働組合 関東地方鹿島港支部
青年部 和田 和弥

第 54 期中央労働講座

5月18日(木)～20日(土)、シーパレス日光福で開催された第54期中央労働講座に関東地方鹿島港支部青年婦人部執行委員代表として参加させていただきました。

執行委員としての活動が初めてだったので、どんな講座、討論があるのか気になっていました。その反面、執行委員歴が浅く、右も左も分からない自分が行ったら恥をかくだけではないのかと不安を抱えての参加でした。

講座初日は、中央本部の方々の挨拶から始まり、鈴木龍一副執行委員長の「人材不足での離職対策におけるメンタルヘルス問題」についての講座を受けました。慢性化する長時間労働や、労働者を取り巻く環境の変化は私も経験があり、印象に残りました。

講座2日目は、鈴木誠一中央執行委員長の「全国港湾の成り立ち」と畠山昌悦中央本部副委員長の「港湾運送事業法と港湾労働法の成り立ちとその背景」についての講座を受けました。今ある協定や、福祉施設ができた経緯を知る事ができました。

講座3日目は、橋崎正伸副執行委員長の「詫間港運闘争から学んだ団結の必要性」についての講座を受けました。ユニオンシップ協定に対しての理解、諦めずに闘争する事によって改善に繋がるという事がわかりました。

講座以外にも、他支部の方々と意見交換する事で、自分が今までに知らなかった事を知ることができ、交流もできていい経験が出来ました。今回の経験を元に、組合の活動に活かしていきたいと思います。